

東日本大震災、被災された皆様にお見舞い申し上げます。

夢通信

平成23年 5月号

夢をつなぐ 心をつなぐ 世界をむすぶ
きぬがわ せいさ こうぎょう

衣川製鎖工業株式会社



衣川 善介

『餅鉄 (もちてつ=べいてつ) 20』

『鉄のふしぎ博物館』に展示されている餅鉄や磁鉄鉱は、釜石、釜石近郊、大槌町など、今回の被災地域周辺で友人の手によって採集されたものです。つやつやと黒光りした重い石ころです。2010年9月29日、尾崎保博様からたくさんの餅鉄が送られて来ました。『9月23日から25日まで京都から釜石まで往復2,400 km、餅鉄を採りに行きました。その汗のしずくを送らせて頂きます』こんな文章が書いていました。一番大きいものは16 cm x 9.5 cm x 8.5 cm、重さが2.7 kg ありました。これらの餅鉄は純度の高いもので、鉄を65~70%も含んでいます。早速、天然の磁石かどうか砂鉄を使って確かめてみました。弱いですが天然磁石で、右は最も強かった鉱石の写真です。



餅鉄は江戸時代の天然磁石の発見や、我が国近代製鉄発祥にかかわる鉄鉱石として、私にとって非常に夢のある鉱石です。餅鉄の採れた釜石近郊は古代からの製鉄遺跡があり、鎌倉・平安時代にも製鉄されていたようです。江戸時代末期からの洋式製鉄が磁鉄鉱を使って始まったことは有名ですが、昔から延々と製鉄の伝統が続いていたために成功したのではないかと考えています。

「大島高任が最初の洋式高炉を釜石に建設したのも良質の磁鉄鉱があることが知っていたからです。」しかし、いかにも硬そうな黒光りした磁鉄鉱の鉱石、製鉄するには割って大きさを整えなければ使えません。実は前回、2007年に頂いた餅鉄を分析するため砕いたことがありますが、非常に固く、砕くのに苦労しました。古代の鉄鉱石製鉄に詳しい中川淳様にお尋ねすると、『一度火に入れると砕けやすくなります、そして直径1 cmくらいに砕きます。』とのことでした。

『鉄のふしぎ博物館』に展示している餅鉄や磁鉄鉱は以下方々から提供されたものです。

お名前	ご住所	採取地	品名	磁性	特徴
尾崎 保博	元塩竈市	岩手県	餅鉄	あり	赤紫色
尾崎 保博	京都市	岩手県 釜石近郊	餅鉄	あり	黒色
野崎 準	京都市	岩手県 上閉伊郡大槌町	餅鉄	あり	黒色
中川 淳	岩手県	岩手県 釜石近郊	餅鉄	なし	黒色
岩崎 重義	新潟県	新潟県 新発田市	餅鉄	なし	黒色
中村宗次郎	東京都	釜石市 鉄の歴史館	磁鉄鉱	なし	黒色
大森 直貴	大阪府	不明	磁鉄鉱 結晶正八面体	なし	赤黒色

お名前の敬称は略させて頂きました。

「鉄のふしぎ博物館」開館
来て！見て！ふれて！ ふしぎ体感

鉄を見る目が変わりますよ。
ぜひお越しください。



ホームページと電子メールをご利用ください。

URL <http://www2.memenet.or.jp/kinugawa/>
<http://www.kanamonoya.co.jp/auto/>
<http://www.kanamonoya.co.jp/catena/>
ryou@memenet.or.jp
bike@kanamonoya.co.jp

むらの鍛冶屋®



何でもお気軽にお尋ねください！！